

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 9 月 18 日 (2014.9.18)

【公表番号】特表 2013-537577 (P2013-537577A)
 【公表日】平成 25 年 10 月 3 日 (2013.10.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-054
 【出願番号】特願 2013-523243 (P2013-523243)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

B 3 2 B 5/24 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

B 3 2 B 5/24 1 0 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 7 月 31 日 (2014.7.31)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

接着テープであって、

(a) 第 1 及び第 2 の対向する主表面を有するフォームコア層、並びに前記フォームコア層の両側に配設される一対のバリア層を備える裏材層と、

(b) 前記裏材上に配設されるスクリムと、

(c) 前記裏材及びスクリム上に配設される接着剤と、
 を備える、接着テープ。

【請求項 2】

前記フォームコア層が、化学的発泡剤を使用して形成されるブローフォームフィルムである、請求項 1 に記載の接着テープ。

【請求項 3】

前記裏材の第 1 及び第 2 の主表面のうちの少なくとも 1 つが、少なくとも約 2 . 5 マイクロメートルの表面粗さを有する、請求項 1 に記載の接着テープ。

【請求項 4】

前記テープが、ロールの形態で提供され、テープロールが、約 1 1 0 o z / i n (1 2 . 0 N / c m) 未満の巻き戻し力を有する、請求項 1 に記載の接着テープ。

【請求項 5】

ダクトテープの製造方法であって、

(a) 化学的発泡剤を使用する連続ブローフィルム押し出しプロセスを使用して、第 1 及び第 2 の対向する主表面を有するフォームコア層と、前記フォームコア層の両側に配設される一対のバリア層とを備えるフォームフィルム裏材層を同時に形成する工程と、

(b) 前記バリア層のうちの 1 つに沿って強化スクリムを供給する工程と、

(c) 前記スクリムに沿って感圧接着剤を供給する工程と、
 を含む方法。